

[第 37 回定時株主総会 主な質疑応答（要旨）]

Q1. 2号議案「定款一部変更の件」に関して、「監査等委員会設置会社」へ移行する目的を聞きたい。

A1. 当社は、グループ一丸となりグローバルコンテンツビジネスを積極的に推進すると共に、経営基盤の強化を通じ中長期的な企業価値の向上に努めていく。その強化施策の一環として、監督と執行を明確に分離する監査等委員会設置会社への移行を行うものである。これにより、取締役会のモニタリング機能強化と権限委任による経営判断の質とスピード向上が期待され、ガバナンス体制の強化に繋がると考えている。

本提案については、独立社外取締役が半数を占めるグループ指名・報酬委員会で様々な議論を重ねた結果であり、他議案の取締役人事、役員体制も同様である。

株主の皆様から付託を受けた取締役の責務とは、当社グループが持続的に成長し企業価値を拡大させていくために、最もふさわしい経営体制とは何か？を常に議論していくことだと考えている。引き続きその想いで経営に参画していく所存である。

Q2. 円谷プロダクションのライブイベント事業について。『ウルトラヒーローズ EXPO サマーフェスティバル』をはじめ、各種イベント開催における広報・アナウンスやオペレーション体制の杜撰さが目立つ。

A2. 当社イベントを楽しみにしていただいているファンの皆様に対し、当社の広報・オペレーション体制の至らなさでご迷惑をおかけしていることを大変申し訳なく思っている。この場をお借りして深くお詫び申し上げますと共に、今後は一層の管理体制強化を図っていく。今般ご指摘を頂戴した点も含め同様のミスが繰り返し起きないように、そして皆様にこれまで以上に楽しんでいただけるイベント運営ができるよう、改善に努めて参る所存である。

Q3. 『ウルトラマン カードゲーム』について、本年 6 月に開催された国内大会に参加したが、非常に楽しく賑わっていた。カードゲームをプレイする一人のファンとしての意見だが、昭和ウルトラマンシリーズや怪獣をもっと活躍させれば、ゲーム性も広がり、多くのファンがより楽しめるのではないかと思う。

A3. ファンの皆様がこれまで以上に楽しむことができる商品となるよう、貴重なご意見として拝承し、今後の商品開発においても検討させていただく。

Q4. 『ウルトラマン カードゲーム』について、来年初開催となる世界大会は、毎年東京で開催する予定なのか。

A4. 今後のイベント開催の詳細は未定であり、開催場所も大会の盛り上がりを見ながら適宜検討していく。なお、世界大会のような大型のイベント以外にも、全国 500 店

舗を超えるカードショップ等では日々様々な公認大会を開催していただいている。また、当社のスマートフォンアプリでは、どこでどのような大会を開催しているのかを確認できる。初心者の方でも参加しやすい大会もあり、お子様も参加しやすいような環境を整えさせていただいているため、是非ご参加いただきたい。

Q5. スマート遊技機の普及状況について教えて欲しい。

A5. 足元、パチスロは約 50%、パチンコは約 12%の普及状況である。遊技機のスマート化に伴い、老若男女問わずより効率的に遊技することができるレジャーとして、これまで以上に誰もが楽しめる形態へと変化してきている。

Q6. パーラーに対するメーカーの販売方法に関して、業界内でも問題視されることがあると思うが、遊技機販売における営業活動方針をお聞きしたい。

A6. フィールズ株式会社は、常日頃からプライム上場企業グループとしての法令遵守、コンプライアンスやガバナンスを重視した経営ならびに事業活動を心がけている。遊技機販売においても、日々の教育研修等を通じて全社員がパーラーに信頼される存在となるよう、ガバナンス含め指導を徹底している。

Q7. 今期業績計画は保守的な印象を受ける。インバウンド需要や海外戦略等のポテンシャルは高いと感じており、より高い目標を立てても良いと思うが社長としてどのように考えているか。

A7. 2003 年の上場時は遊技機販売を主たる事業とする企業だったが、様々な課題を乗り越えながら実績を積み重ね、今ではグローバルコンテンツビジネス企業として事業を推進している。まだまだ課題も多く、今期計画も保守的と思われるかもしれないが、日本を代表するコンテンツを担う一企業として、より高い目標を達成できるようグループ一丸となり企業価値の向上に努めていく。

Q8. パチンコ・パチスロというレジャーは海外展開できるものなのか。例えばカジノのような存在になる可能性はあるのか伺いたい。

A8. パチンコ・パチスロが日常のレジャーの一つであるのに対し、カジノは旅行客等が中心であるため、遊技機の入替を含めビジネスモデルや客層が異なる。当社としては、日本に訪れた海外旅行客がパチンコ・パチスロを楽しめるような取り組みを、業界全体で考えていきたい。

Q9. カジノが日本に誘致された場合、パチンコ・パチスロファンが減少し、パーラーの売上減少に繋がる可能性はあるのか。

A9. Q.8 の回答に関連し、カジノとパチンコ・パチスロファンでは客層が全く異なること

から、影響はないと考えている。

Q10. 中国政府のレアアースの輸出管理強化に伴い、アミューズメント機器事業においても部材調達等のリスクがあるのか伺いたい。

A10. 現時点において、当事業への大きな影響は見られない。

Q11. 株式会社ラウンドワンが海外で出店数を拡大し業績を伸ばしているが、こうした店舗に設置するアミューズメント機器の一つとしてパチンコやパチスロを展開していく等の構想はないのか。

A11. 海外の方々がパチンコ・パチスロに馴染まない理由の一つとして、パーラー内における遊技機や周辺設備機器における玉やメダルの循環による騒音に耐えられない点がある。一方で、スマート遊技機の普及に伴いこうした問題が今後改善された場合は、海外の方々も充分に楽しめるようになるとみており、引き続き海外展開の可能性についても調査・研究は継続していく。

※本株主総会に関するご質問およびご意見・ご要望等のみ抜粋しております。